

令和5年度第6回芽室町総合計画審議会 議事録

令和5年10月25日（水）18:30～20:30

芽室町役場 2階会議室7・8

■出席委員（12名）

貫田会長、明瀬副会長、廣江副会長、岩野委員、江口委員、岡田委員、黒田委員、小池委員、小林（善）委員、白銀委員、鈴木委員、林委員

■欠席委員（3名）

小林（覺）委員、棚瀬委員、花岡委員

■事務局

石田政策推進課長、天野主事、佐藤

■説明員

中島総務課長補佐兼危機対策係長、西田魅力創造課長、大石魅力創造係長、森健康福祉課長、上畠社会福祉係長

■1 開会及び挨拶

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和6年度第5回総合計画審議会を開会します。それでは開会にあたり、会長より挨拶をお願いします。

会長

本日はこれまでの審議会でも度々議論となっている「町内会・行政区」にテーマを絞って実施することとした。

また、本日は板書役も入っていただき、活発な議論の場としたい。本日もよろしくをお願いします。

事務局

会長ありがとうございます。続きまして、本日板書役としてNPO法人まちづくりプラットフォームめむろの平岡氏にご協力いただきます。平岡様からご挨拶をお願いします。

平岡氏

このような貴重な場に板書役として参加でき、非常にありがたく思う。普段は町民活動支援センターで活動しており、魅力創造課と連携して市民ファシリテーター講座や板書講座などを実施している。本日は、活発な議論の場になるように協力させていただきたい。どうぞよろしくお願いします。

事務局

それでは、ここからの進行は会長にお願いします。

会長

議案の調査事項に入る前に、「町内会・行政区」について委員それぞれが感じていることについて、一言ずつご発言いただきたい。

委員

- 農村部は農事組合単位で活動している。農家世帯、非農家世帯含めてほぼ全戸が加入しており、2か月に1回は集会など活動をしている。
- 町内会の役員や役割について負担感があるという声が多い。役員のなり手不足として昔からやっている方が支えてくれているが、若い人の立候補などがあればよい。
- 町内会の「入らないメリット」を考えた時に、何もしたくない人や役員をしたくない人が多いと思う。「入らないメリット」の対策が必要だと思う。
- 町内会の今後の在り方として、部をなくして、コアとなる役員+実行委員会形式が良いのではないかと思う。このままでは町内会自体が衰退していくばかりかと思う。
- 地域福祉館の管理や広報誌すまいるの配付、自治振興報償費など、役員をやったことがない人は町内会の活動であることをあまり認識していないことだと思う。活動内容の周知を徹底し、複合的にみて町内会の必要性を判断していただけるようになれば良い。
- 新しい魅力的な町内会の形を模索する必要がある。先進的な取組や役員一人ひとりの負担を減らす取組も重要となる。若い共働き世代は忙しくて活動もできないのではないか。連鎖的に脱退する人も多く「自分たちのまちを作っていく」というイメージ付けとして、町内会という名前を変えても良いのではないかと思う。
- 最近では町内会どころか隣近所の関係が希薄となっている。自分が子どもの頃は町内会活動が楽しかった記憶がある。
- 町内会に加入の有無に関わらず、近所に住む人の名前が分かるという関係性が重要なのではないか。
- フラワーロード事業などの活動において、他世代と顔を合わせることは貴重な時間だと思う。
- 町内会は一人暮らし世帯にとって繋がりや安心感となっている。
- 町内会は防災・防犯に対して非常にメリットである。阪神淡路大震災において生き残った人の多数は町内会加入者である。
- 全道市町村の町内会加入率ランキングをみると芽室町はワースト8位。人口が少ない自治体では加入率が高い傾向にある。やり方次第で加入率は上がっていくのではないか。

■ 2 (1) 調査事項 2022年度施策の追加審議について<資料1>

会長

議案2 調査事項について事務局より説明をお願いします。

事務局

- 本日の審議会の目的は、過去の審議会(施策評価)において町内会に関する意見が多々あったことから、改めてテーマを「町内会・行政区」に絞って議論していただく場を設けた。
- 本日の議論の結果は、資料1施策マネジメントシートの7. 総合計画審議会(外部評価)欄の「今後の取組に対する意見」に追記することとしたい。ただし、施策評価(リンク審議)は行わない。
- 総合計画審議会の場合であることから、施策(分野)ごとに区切って議論を行う。
- 進行は会長とし、「意見の見える化」や「意見の整理」のため板書役としてNPO法人まちづくりプラットフォームめむろの平岡氏に担当していただく。
- 議論の中で出た意見は①課題②対策③役割に整理し、ホワイトボードに記載する。
- 資料に沿ってデモンストレーションの説明
- 資料2は町内会の加入率など基本データである。加入率が100%を超えている理由は、町内会範囲内に居住する世帯が加入していることに加えて、範囲内で商店としても加入している場合も1世帯としてカウントしているためである。
- 資料3は令和3年度に魅力創造課において実施した町内会に関するLINEアンケートの結果である。「町内会に加入してよかったと思うこと」は、30代以上の全世代で「防犯活動につながる」ことを利点としている結果。また、「町内会に加入していない理由」は全世代で「役員の役割が当たっても対応できない」という結果となった。

①地域で支え合う福祉社会の実現

会長

この施策(分野)について、意見等はあるか。

委員

- 引越してきた方に「町内会の良さ」を伝えられずにいる。(課題)
- 未加入世代向けに町内会ごとのチラシを作成してはどうか。(対策)
- 無料で町民活動支援センターにおいて作成できる。各町内会に周知してはどうか。(役割)

●子育て世代は仕事で忙しい。(課題)

→入って良かったと思う何かをつくる。一度入ってもらうきっかけをつくる。例えば、子ども会費の補助やMポイント加点、町内会加入手続きの周知を役場窓口で紹介するなど。(対策)

→役場各担当課(役割)

●高齢者は交通手段がないことや役員なども担えないことから脱退する人がいる。(課題)

→LINEなどSNSを活用し「移動しなくてよい」活動をしてはどうか。(対策)

●近隣住民でも名前を知らない人や顔を合わせたこともない人がいる。(課題)

→町内会未加入者でも参加できるイベントを実施し、関係性をつくる最初のステップをつくる。イベントでは一緒に運営などする前に「お客さん」として来てもらう。イベント例として、民謡を聞く会、マジックショーなどを地域福祉館などで行う。(対策)

→ボランティアセンターや社会福祉協議会などが実施し、役場が下支えする。(役割)

●町内会未加入者の相談先がないのではないかと(課題)

●町内会加入率が低下していることと「地域の支え合い」の相関関係があるのではないかと(課題)

(板書は別紙参照)

②災害に強いまちづくりの推進

会長

この施策(分野)について、意見等はあるか。

委員

●どの町内会においても防災訓練の参加率が低い。(課題)

→防災訓練の参加率を上げるために、町内会を通じた加入者・未加入者への呼びかけに工夫が必要ではないか。未加入者が加入する良いきっかけにもなると思う。(対策)

→全町での防災イベントについて、小規模でも開催頻度を上げる。また、小学校の授業で防災に関する話し合いを実施する。(対策)

→町内会及び役場防災担当課(役割)

(板書は別紙参照)

③住民自治の実現と地域の活力の維持

会長

この施策（分野）について、意見等はあるか。

委員

●全町内会の加入率は50%程度と低い状況にある。（課題）

→全町民を対象とした「防災」のための新しい組織をつくる。（対策）

→本審議会のような町内会について議論する場が必要。（対策）

→役場や町内の関連団体から町内会加入について啓発しあう。（役割）

●入りたいけど入れていない町内会未加入者がいる。（課題）

→町内会加入者による「子育て」をテーマとしたまちづくりに関して話し合う場をつくる。（対策）

→各町内会（役割）

（板書は別紙参照）

■ 3 その他

会長

以上で本日の調査事項が全て終了した。

それでは今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

事務局

次回審議会は11月29日（水）に実施予定。追って開催通知を送付させていただく。

会長

今の説明や全体に関して何か質問や意見はあるか。

委員

（質問・意見なし）

■ 4 閉会

会長

それでは、これで本日の審議会を終了する。お疲れ様でした。

（20：30）

地震→防災

→防犯

町	加入率
1 中標津	41.8
5 帯広市	50.6
8 茅渚町	55.0

「入らない×リット」への対策

新しく越してきた人
加入したい。
何もしてくれない人、役員はつらい

小さい単位の
良さ
大震災で生き残った人の
多数は加入者

町内会について
ひとこと

昔からの形/若い人の立候補
支え
班長、回り番、負担...

町内会の
現状の形

部をなくして、コア役員×バー + 実行委員形式

なり手不足→立候補制

会長不在で
環境整備

農村は「農事組合」→農協役場
非農家も含め、2ヶ月1回、IT
(100%加入)

隣近所の関係希薄
(町内会に頼らない)

連帯感

価値感
異なる人

子ども3...
町内会活動
楽しかった

加入した
けどいい
気になら
ない関係

フォローアップ事業で
他世代と融合せ

名前が
わかる

若い世代に
対して
どうする??

連鎖反应的に
やめる人も...

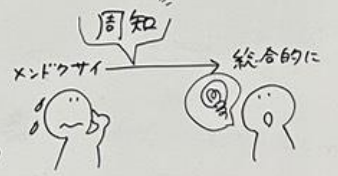
新しい町内会の形?
複加的? 単一的?

先進的だとよく
1人の負担(減)
役場のとりにくさ運動

自分たちのまちを
つくりたい!
(下世代も
参加して)

複合的に判断

交流・分析
戦略・戦術、対象



地域福祉館
可及的
自治体と
連携

① 地域で支え合う福祉社会の実現

課題

- 引越してきた方に「町内会の良さ」を伝えられずにいる。
- 「支え合う体制」の対象として…
 - 子ども・子育て世代…仕事で忙しい。
 - 高齢者…交通手段ないからやめる。
…できないからやめる
 - 顔を合わせたこともない人
- 未加入者の相談先の有無
- 加入率と「地域の支え合い」の相関関係

対策

未加入世代向け、各町内会ごとのチラシ作成

入ってよかったと思う何かをつくる

一度、入ってもらうきっかけをつくる

例) 子ども会費の補助、Mポイント加算、
加入手続きの周知と、役場窓口での紹介

LINE活用し、「移動しなくてよい」活動

加入者 初加入者も
参加できる

関係性をつくる 最初のステップをつくる

一緒に何かをやる前に、「お茶会」として来よう

例) 民謡開成会、マジックショー
◎ 福祉食官

役割

町民活動支援センターで作成(無料)
※各町内会に周知

ポラセン、ネット上のイベントを役場が支える

それ以外のとりこみ

② 災害に強いまちづくりの推進

課題

参加率^{いそがけ}あげるために、
町内会を通じた加入者/未加入者への
呼びかけに工夫が必要では。

対策

全町の防災イベントの^{小さい規模でも}頻度をあげる。
小学校の授業で防災に関する
話し合い活動をする。

役割

③ 住民自治の実現と地域の活力の維持

課題

加入率 50%
未加入者 (入りたいたいで入れない)

対策

総合的な
「まち高齢者」
全住民を対象とした「B方災」の
ための 新しい組織 をつくる。

町内会加入者による「子育て」1テーマの
町づくりに関わって話しあう場をつくる。

役割

町内の関連団体で 啓発あう

今後も継続して
ほしい